

網走支庁管内鳥類目録 —北海道・オホーツク圏で確認された鳥類—

川崎康弘

日本野鳥の会オホーツク支部
〒099-4115 北海道斜里郡斜里町光陽町31-16
E-mail:marlboro@v003.vaio.ne.jp

はじめに

網走支庁管内は総面積10,689.39km²と、全道面積の12.8%を占めるほどの広さもち（北海道網走支庁地域政策部振興課，1998），その中には日本最後の秘境と呼ばれる知床国立公園をはじめとして，網走国立公園や斜里岳道立自然公園など，いくつもの自然公園が設定され，地域特有の自然環境が保たれている。

また，流水という世界的にも稀な現象が起こるオホーツク海は海洋資源に富み，コムケ湖やサロマ湖，能取湖，濤沸湖といった海跡湖群は貴重な干潟・湿原環境を有し，さらに，先に挙げた知床国立公園や，内陸部の大雪山国立公園から続く地域には広大な森林地帯が広がるなど，実に多種多様で豊かな自然環境が混ざり合い，四季を通じて観察される野鳥の種類も多い。

これまでに当管内の野鳥を対象として様々な目録が作成され，それらは鳥学の発展に少なからず寄与してきたが，それらの目録をあらためて見つめ直してみると，採用の基準が曖昧であったり，稀な種の記録であっても種名のみが記載されているだけで，日時や場所などの基本的な情報について触れられていないものが若干見受けられ，またそれらに含まれている記録の中には，識別や分布に関する研究が進んだ今日では疑問と思われるものも，わずかながら含まれている。

藤巻（2000）は，「北海道における鳥類の地域別生息状況（北海道生活環境部自然保護課，1981）」，また「北海道地域別鳥類リスト（日本野鳥の会北海道ブロック支部連合協議会，1991）」を例に，「これらの目録は従来の様々な記録をそのまままとめたため，疑問と思われる記録が何ら注釈なしに採用されていたりする。一度このようなりリストが印刷されると，独り歩きをするようになり，疑問と思われる記録がいつのま

にか当たり前の記録になってしまうおそれがある」と指摘し，従来の記録を一定の基準を設けた上でもう一度見直し，「北海道鳥類目録（初版1998，改訂2版2000）」にまとめている。

この指摘は当管内においてもそのままではまり，のちの混乱を防ぐ意味でも，できる限り早期に，明確な採用基準をもった，統合的な目録を作成する必要があると思われる。

そこで今回はその基礎とすべく，網走支庁管内全域の記録を対象とした，確実な記録のみをまとめた鳥類目録を作成した。

方法および記録の採用基準

今回は原則として，稀と思われる種については以下に挙げる採用基準に照らし合わせ，基準を満たした記録についてはその詳細を備考欄に挙げた。また，それほど稀ではないと考えられる種についても確実な記録や特記すべき情報がある場合など，必要に応じて補足を加えた。

記録を判断するにあたっての基準は，以下のよう

記録の採用基準

- 1）：学術雑誌^{*1}，またはそれに準じたもの^{*2}において発表されている（あるいは予定がある）記録のうち，観察の時期，場所などの詳細なデータが明らかなもの。
- 2）：雑誌，書籍，新聞，機関誌等において，確実にその種と分かる写真とともに，最低限必要な情報^{*3}が記載されている記録。
- 3）：標本が現存しているもの，また，標識で確認された記録。
- 4）：これまでに発表されていないが，確実にその種と分かる写真と，最低限必要な情報が現存している記録。

- ※1 「日本鳥学会誌」, 「山階鳥類研究所報告」, 「Strix」等.
- ※2 大学や博物館の紀要, または研究報告, 官公庁の調査報告書, 等.
- ※3 種名, 観察年月, 観察地.

以上を判断基準とし, 既存の文献類や筆者の元に寄せられた個人所有の未発表記録について必要に応じて聞き取り調査などを行いながら検討し, その中から基準を満たした記録のみを本目録に収録した.

本目録中の分類順, 学名, 和名等については日本鳥類目録編集委員会(2000)によった. ただし, 日本鳥類目録改訂第6版に収録されていない種についての分類順, 学名, 和名については, 真木・大西(2000)を参考にした.

また, 一部希少種については, その詳細な情報を記述することによって様々な面での悪影響が及ぶ可能性を考慮し, 記録の概略を記述するに留めたものもある.

なお, 文献に記載があるが, 詳細な情報が不明などの理由により, 今回収録を見送った種については, その理由とともにリストとして表2にまとめた.

結果および考察

今回, 本目録に収録した鳥類は314種である(表1). このうち, コブハクチョウ, キジ, カワラバト(ドバト)は自然分布しない種である(ただし, コブハクチョウに関しては野生個体が飛来する可能性がないとは言えないと思われる)ため, いわゆる野鳥として扱えるものは311種となる. ただし, 表2に挙げた鳥類の内, ホイグリンカモメとカナダカモメは日本鳥類目録改訂第6版に収録されていないものの確実な記録であるため, これら2種を加えると, これまでに網走支庁管内で確認された野鳥の総種類数は313種となる.

さらに, 本目録には収録されなかったものの, 筆者が知る限りの管内における観察例がある種類を加えると, およそ330-340種ほどになると思われる. これは, 高田(1991)に収録された根室支庁管内の確認数333種に匹敵し, 藤巻(2000)に収録された北海道全体の確認数434種のおよそ78%となり, 当管内の多様かつ豊かな自然環境を表すものと思われる.

おわりに

今回は論文等ですでに発表されている記録, また写真と詳細な観察データが現存している未発表記録のみを取り扱い, その他のいわゆる「観察記録」については収録しなかった. しかし, 実際の野鳥観察の現場では撮影不可能な場合が多く, 貴重な種を観察したとしても常に写真という第三者が客観的に判断できる形で記録を残せるとは限らない.

また, 一般のバードウォッチャーでは観察から得た知見を論文として発表することが困難なこともあり, 実際には非常に多くの貴重な記録が眠っていると思われる. 今後, 本目録を改訂するにあたっては, こういった「観察記録」についてもカテゴリを設けて収録していきたい.

また, 今回は情報収集の対象が特定の地域, 団体に偏ってしまい, 管内全域へ行き届かなかったために, 基準を満たしていながら本目録から漏れてしまったものも多々あると思われるが, 今後も継続的に情報収集を行い, 改訂版で順次収録して一層の充実を図っていきたい. なお, 管内北部の雄武町や興部町, また内陸部の留辺蘂町や遠軽町, 白滝村といった地域の情報がほとんどなく, 管内全域の鳥類相の把握のためには, これらの地域を対象とした鳥類調査, また継続的な啓発活動などが必要不可欠であると思われる.

本目録に関しては, その他にも亜種への対応, また繁殖情報や移動型, 観察頻度等の情報を収録するなど課題は多く残されているが, これを元に改良を加えていき, 総合的な目録を目指していきたい. 今回のものには不備な面も多々あると思うが, 今後も継続的な情報提供をお願いするとともに, ご指摘などをいただければ幸いである.

謝辞

本目録を作成するにあたって, 大館和広氏, 保坂隆昭氏, 日本野鳥の会オホーツク支部所属の斎藤喜一郎, 坪川正己, 花田行博, 藤田俊大, 舟生憲幸の各氏をはじめとする会員の方々から貴重な情報を快く提供していただいた. また, 知床博物館の宇仁義和, 中川元両氏には本目録を執筆する機会を与えていただき, 執筆にあたっては情報の提供とともに, 数多くの助言もいただいた. 以上の方々には深く感謝の意を表する.

引用・参考文献

- Beaman, M., and Madge, S. 1998. *The Handbook of Bird Identification for Europe and the Western Palearctic*. Princeton University Press. Princeton.
- Brazil, M.A. 1987. A record of Common Wheatear *Oenanthe oenanthe* from Hokkaido. *Strix* 6:103-104.
- 藤巻裕蔵. 1995. 北見地方の鳥相. 美幌博物館研究報告, 5:7-19.
- 藤巻裕蔵. 2000. 北海道鳥類目録(改訂2版). 帯広畜産大学野生動物管理学研究室. 帯広.
- 日比彰. 1995. 幻の鳥, シロハラチュウシヤクシギ. 世界の鳥界事情①. *BIRDER*, 102:80-81.
- 北海道網走支庁地域政策部振興課. 1998. 統計オホーツク圏. 北海道網走支庁, 網走.
- 北海道新聞社編. 1986. 新版北海道の野鳥. 北海道新聞社. 札幌.
- 金田彦太郎・BIRDER編集部. 1994. 海ガモがいっぱい, 冬の海に浮かぶ宝石たち. *BIRDER*, 85:22.
- 川崎康弘. 1997a. 網走市・小清水町・斜里町におけるオホーツク海沿岸部周辺の鳥類. 知床博物館研究報告, 18:19-34.
- 川崎康弘. 1997b. 斜里漁港で観察されたホイグリンカモメ. *BIRDER*, 125:54-58.
- 川崎康弘. 1997c. 濤沸湖周辺, 夏の北海道鳥見旅. *BIRDER*, 126:40-43.
- 川崎康弘. 1998. 水鳥見るなら濤沸湖・濤沸湖探鳥スポット案内. 北海道野鳥だより, 113:2-4.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸. 2000. 日本の鳥550水辺の鳥(シロハラトウゾクカモメ:写真). 文一総合出版. 東京.
- 真木広造・大西敏一. 2000. 日本の野鳥590. 平凡社. 東京.
- 森信也. 1979. 斜里町管内の鳥類相について. 知床博物館研究報告, 1:1-10.
- 水間秀文. 1991. フィールドノート, ゾウゲカモメ. 野鳥, 533:53.
- 水間秀文・大塚恭司. 1991. フィールドノート, ヒメクビワカモメ. 野鳥, 533:53.
- 中川元. 1981. 第5章, 知床半島の鳥類調査報告. 知床半島自然生態系総合調査報告書(動物篇), 43-79.
- 中川元. 1982. 知床半島先端部の鳥類. 知床博物館研究報告, 4:49-54.
- 中川元. 1985. 知床半島中央部の鳥類. 知床博物館研究報告, 7:17-20.
- 中川元. 1988. 知床の動物群集:3鳥類, 知床の動物. 北海道大学図書刊行会.
- 中川元. 1995. 斜里川にクビワキンクロ飛来. 北海道野鳥だより, 100:14.
- 中川元・藤巻裕蔵. 1985. 遠音別岳原生自然環境保全地域における鳥類. 遠音別岳原生自然環境保全地域調査報告書, 379-404.
- 日本鳥類目録編集委員会. 2000. 日本鳥類目録(改訂第6版). 日本鳥学会.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1988. 野鳥情報(コウノトリ, ミツユビカモメ, ヒメクビワカモメ, アカショウビン). *Strix*, 7:305-308.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1991. 野鳥情報(アメリカコガモ, ヒメクビワカモメ). *Strix*, 10:315-318.
- 日本野鳥の会野鳥記録委員会. 1992. 野鳥情報(サゴイ, カラフトムジセッカ, ムクドリ). *Strix*, 11:377-382.
- 日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1993. 野鳥情報(ヘラサギ). *Strix*, 12:259-264.
- 日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1994. 野鳥情報(クビワキンクロ). *Strix*, 14:205-211.
- 日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1997. 野鳥情報(ミヤコドリ, イカルチドリ, ヤツガシラ). *Strix*, 15:149-160.
- 日本野鳥の会野鳥記録検討会. 1998. 野鳥情報(ツクシガモ). *Strix*, 16:177-183.
- 城殿博. 1979. 濤沸湖周辺の野鳥. 北海道野鳥だより, 35:3-8.
- 小川巖・城殿博・百武充・竹田津実・米田政明. 1975. 第3, 濤沸湖およびその周辺の鳥類相. 野鳥生息環境実態調査報告書, トーフツ湖, 29-58.
- 大館和広. 1990. コムケ湖のシギ・チドリ. *ワイルドライフ・レポート*, 12:35-41.
- 大館和広. 1992. コムケ湖のシギ・チドリ その2. *ワイルドライフ・レポート*, 14:29-33.
- 大館和広・大塚恭司・藤田司. 1986. コムケ湖の野鳥. *ワイルドライフ・レポート*, 4:57-68.

- 大館和広・大塚恭司・藤田司. 1987. コムケ湖の野鳥 その後. ワイルドライフ・レポート, 6 : 59-62.
- 大西重利. 1979. マナヅル発見. 北海道野鳥だより, 38 : 9.
- 斎藤喜一郎. 1996. 網走の野鳥277. 東京農業大学生物生産学部オホーツク野生動物研究会, 網走.
- 佐々木孝夫. 1990. 網走地方の鳥類相. 東京農業大学生物生産学部オホーツク野生動物研究会, 網走.
- 佐々木孝夫・渡辺裕. 1983. 鳥類, 呼人半島の生物 34-41. 網走郷土博物館友の会, 網走.
- 関根正行. 1987. 北海道小清水町に於けるマダラウミスズメの生態と繁殖について. 小清水の野鳥 135-140, 小清水町教育委員会, 小清水.
- 鳥田明英. 1996. 美幌町鳥類調査(1995年). 美幌博物館研究報告, 6 : 1-18.
- 鈴木哲夫. 1977. 北見の鳥類. 北見郷土博物館紀要, 7 : 25-47.
- 高田勝. 1991. 根室支庁管内鳥類リスト. 根室市博物館開設準備室紀要, 5 : 1-19.
- 玉田誠. 1971. トーフツ湖のクロヅル. 北海道野鳥だより, 6 : 11.
- 玉田誠. 1972. 濤沸湖のハクガン. 北海道野鳥だより, 11 : 4-5.
- 田沢道広. 1990. 知床半島羅臼町管内の鳥類リスト. 知床博物館研究報告, 11 : 21-27.
- 塚部儀之助. 1995. つべつの野鳥. 津別町教育委員会, 津別.
- 宇仁義和. 1997. オホーツク海沿岸地域のタンチョウ飛来記録. 知床博物館研究報告, 18 : 15-18.
- 山田良造. 1989. 北海道に舞い降りた迷鳥たち(2). 北海道野鳥だより, 77 : 5.
- 山田良造. 1990. 北海道に舞い降りた迷鳥たち(4). 北海道野鳥だより, 79 : 3.
- 柳川久・武藤満雄. 1991. 北海道におけるハクガンの記録と十勝における初観察例. *Strix*, 10 : 268-271.

表1. 網走支庁管内鳥類目録

目科	種目	学名	備考
アビ目 GAVIIFORMES			
アビ科 GAVIIDAE			
	1 アビ	<i>Gavia stellata</i>	
	2 オオハム	<i>Gavia arctica</i>	
	3 シロエリオオハム	<i>Gavia pacifica</i>	
	4 ハシジロアビ	<i>Gavia adamsii</i>	止別川河口1995.11.16 (川崎 1997a), 斜里町日ノ出漁港1998.12月-1999.1月 (坪川正己私信)。
カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES			
カイツブリ科 PODICIPEDIDAE			
	5 カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	
	6 ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>	
	7 ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i>	
	8 アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena</i>	
	9 カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	知床半島先端部1980.5.22 (中川 1981), コムケ湖1983.10.23 (大館ほか 1986), 網走港1998.11.23 (斎藤喜一郎私信)。
ミズナギドリ目 PROCELLARIIFORMES			
ミズナギドリ科 PROCELLARIIDAE			
	10 フルマカモメ	<i>Fulmarus glacialis</i>	
	11 オオミズナギドリ	<i>Calonectris</i>	コムケ湖 (海岸) 1998.8月死体確認 (大館和広私信)。
	12 ハイイロミズナギドリ	<i>leucomelas</i>	
	13 ハシボソミズナギドリ	<i>Puffinus griseus</i> <i>Puffinus tenuirostris</i>	
ウミツバメ科 HYDROBATIDAE			
	14 ハイイロウミツバメ	<i>Oceanodroma furcata</i>	
	15 コシジロウミツバメ	<i>Oceanodroma leucorhoa</i>	北見市中ノ島町1988.10月 (北見新聞 1988.10.30記事), 斜里町青葉町1997.10.18保護, 翌日放鳥, 斜里町の前浜沖3-4kmでは夏期 (特に7月) に見られる (宇仁義和私信)。
ペリカン目 PELECANIFORMES			
ウ科 PHALACROCORACIDAE			
	16 ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>	
	17 ヒメウ	<i>Phalacrocorax pelagicus</i>	
	18 チシマウガラス	<i>Phalacrocorax urile</i>	瀧沸湖 (沿岸の流水上) 1975.12月など (城殿 1979)。
コウノトリ目 CICONIFORMES			
サギ科 ARDEIDAE			
	19 サンカノゴイ	<i>Botaurus stellaris</i>	藻琴湖1973.7月 (城殿 1979)。近年の確実な記録はないものと思われる。なお、佐々木 (1990) に、出処の明らかな剥製があるとの記載があるが、詳細は不明。
	20 ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	瀧沸湖1973.6/7月 (城殿 1979) ※幼鳥3羽の記述があるが、繁殖に関しては言及していない。なお、近年の確実な記録はないものと思われる。
	21 ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	女満別町網走湖畔2000.5.21アオサギコロニー内で営巣中の2ペアと幼鳥1羽 (川崎 未発表)。
	22 ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>	網走市1991.5.24 (Strix 11)。
	23 アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>	藻琴湖1998.5.30 (斎藤私信)。
	24 アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	コムケ湖1987.5-6月 (大館ほか 1987), 瀧沸湖1992.5-6月 (坪川私信) /1999.7.26 (斎藤私信)。
	25 ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	コムケ湖1981.6月/1984.4-8月 (大館ほか 1986), 北見市 1994.4月 (坪川私信), 同・中ノ島公園1996.4.18 (斎藤私信), 瀧沸湖1996.4-5月 (川崎 1997a)。
	26 チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	知床半島1980.7.1 (中川 1981), コムケ湖1986.8.24/1987.4.19, 2羽 (大館ほか 1987) /1991.6.19 (大館私信), 藻琴湖1996.4-5月 (川崎 1997a)。
	27 コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	コムケ湖1984.7-8月 (大館ほか 1986), サロマ湖1996.4.22 (大館私信), 斜里川河口2000.4.14 (川崎 未発表)。
	28 カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>	能取湖1995.5.14 (北海道新聞 1995.5.14記事)。

29 アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	
コウノトリ科 CICONIDAE		
30 コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	コムケ湖 1986.5.4-7.21 (大館ほか 1987) /1992.5月 (大館 私信) /1992.9月 (坪川 私信), コムケ湖・シブノツナイ湖/1987.5.10-10.10 (日本野鳥の会野鳥記録委員会 1988), 濤沸湖1987.11.7 (坪川 私信).
トキ科 THRESKIORNITHIDAE		
31 ヘラサギ	<i>Platalea leucorodia</i>	女満別 1985.9.6 (北海道新聞 1985.9.21記事), 濤沸湖1992.5.30-7月末 (Strix 12), コムケ湖 1995.9.27 (大館 私信) /1993.8月 (坪川 私信).
32 クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	能取湖 1995.8月 (坪川 私信) /1997.6.9 (宇仁 私信).
カモ目 ANSERIFORMES		
カモ科 ANATIDAE		
33 シジュウカラガン	<i>Branta canadensis</i>	濤沸湖1989.10.5.幼鳥2羽放鳥 (北海道新聞1989.11.19記事), 湧別川1996.12.7 (大館 私信).
34 コクガン	<i>Branta bernicla</i>	コムケ湖1985.4月/1985.12月/1986.11月 (大館 1987), 紋別港1995.12.1 (大館 私信), 網走市鱒浦 (ボンモイ) 海岸1996.1月/1996.4.10-22 (川崎 1997a), 1996.2.10 (斎藤 私信).
35 マガン	<i>Anser albifrons</i>	
36 ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>	
37 ハクガン	<i>Anser caerulescens</i>	濤沸湖1971.3月/10月上旬/1972.3.12-4.22 (玉田 1972), 能取湖1985.11.3幼鳥1羽 (柳川・武藤 1991), 小清水町止別1999.11.7成鳥1羽がヒシクイ群中に混在 (川崎 未発表).
38 コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	コムケ湖, 濤沸湖等で複数の記録がある. 湧別町川西では1996年に繁殖 (大館 私信). 普通北海道で見られるのは, 飼育個体が野生化したもので, 一部は冬に本州中部に渡る (藤巻 2000).
39 オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>	
40 コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>	亜種アメリカコハクチョウ: 紋別市コムケ湖1985.4月/1987.4月 (大館ほか 1987), 端野町常呂川河川敷1996.5.4 (坪川 私信).
41 ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	コムケ湖 1995.8.17 (Strix 16).
42 オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	
43 マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	
44 カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	
45 コガモ	<i>Anas crecca</i>	亜種アメリカコガモ: 北見市中ノ島1991.1.11-2.12 (Strix 10), 濤沸湖1996.9.21他 (川崎 1997a).
46 トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	コムケ湖 1986.5.5 (大館ほか 1987), 斜里川河口1997.2.23 (川崎 1997a).
47 ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	
48 オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	藻琴湖, 濤沸湖において繁殖 (川崎 1997a).
49 ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	
50 アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>	濤沸湖 1975.10.20, 10羽 (小川ほか 1975) /1996.5.17雄1羽, 斜里川河口 2000.4.7-8雌1羽 (川崎 未発表).
51 オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	
52 シマアジ	<i>Anas querquedula</i>	
53 ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	
54 ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	
55 オオホシハジロ	<i>Aythya valisineria</i>	コムケ湖 1984.4月 (北海道新聞社 1986).
56 クビワキンクロ	<i>Aythya collaris</i>	斜里川河口1994.3.8 (Strix 14) /1994.12.18 (中川 1995), 網走港 1995.2.25 (川崎 1997a) /1998.1.23 (斎藤 私信).
57 キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	
58 スズガモ	<i>Aythya marila</i>	
59 ケワタガモ	<i>Somateria spectabilis</i>	能取岬1987.12.27-1988.2.6生後一年目の雄幼鳥 (金田・BIRDER編集部 1994; 山田 1990).
60 クロガモ	<i>Melanitta nigra</i>	
61 ピロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i>	
62 アラナミキンクロ	<i>Melanitta perspicillata</i>	網走港 1995.2.23-3.1雄成鳥1羽 (川崎 1997a) /2000.2.27雄幼鳥1羽 (北海道新聞2000.3.15記事), この個体は3.28まで滞在した (川崎 未発表).
63 シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>	
64 コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>	
65 ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	
66 ヒメハジロ	<i>Bucephala albeola</i>	コムケ湖 1991.11.25 (大館 私信).

	67 ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	
	68 ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	
	69 カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	
タカ目	FALCONIFORMES		
タカ科	FALCONIFORMES		
	70 ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	
	71 ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	置戸町1994.6月(坪川 私信)。
	72 トビ	<i>Milvus lineatus</i>	
	73 オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	
	74 オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>	濤沸湖1995.8.6/1996.8.24(川崎 1997a) ※夏期の観察例。
	75 オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	垂種シロオオタカ: 網走1986.11.18保護, のち標識放鳥(山田 1989)。
	76 ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	網走港1996.2.17(川崎 1997a) ※冬期の観察例。
	77 ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	
	78 ケアシノスリ	<i>Buteo lagopus</i>	コムケ湖1986.4.14(大館ほか 1987), 網走市浦士別1992.2月/1994.2月(坪川 私信), 濤沸湖2000.2.5(斎藤 私信)。
	79 ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	
	80 クマタカ	<i>Spizaetus nipalensis</i>	
	81 カラフトワシ	<i>Aquila clanga</i>	
	82 イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos</i>	斜里町弁財トンネル近くの林中1972.2.22羽(森 1979), 近年の確実な記録はないと思われる。 斜里町前浜2000.6.4幼鳥1羽, 死体回収(知床博物館 2000)。なお, 1997年9月に 日本野鳥の会オホーツク支部の調査により管内内陸部での生息が確認された。 訓子府町1985.12.20保護(朝日新聞1985.12.22記事) ※その後オホーツク水族 館において保護飼育。 止別川河口1994.12.27, 小清水町浜小清水1996.11.6(川崎 1997a)。
	83 クロハゲワシ	<i>Aegyptius monachus</i>	
	84 ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	
	85 チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	
ハヤブサ科	FALCONIFORMES		
	86 シロハヤブサ	<i>Falco rusticolus</i>	濤沸湖1973.1/1975.1/2月(城殿 1979)。
	87 ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	
	88 ナゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>	
	89 コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>	
	90 チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	
キジ目	GALLIFORMES		
ライチョウ科	TETRAONIDAE		
キジ科	PHASIANIDAE		
	91 エゾライチョウ	<i>Bonasa bonasia</i>	
	92 ウズラ	<i>Coturnix japonica</i>	コムケ湖1983.12月(大館 1986), 知床岬1981.6月(中川 1982), 濤沸湖 1974.7月(小川ほか 1975)/1995.9.2(川崎 1997a)。なお, 詳細は不明なが ら城殿(1979)に濤沸湖周辺で繁殖との記述がある。
	93 キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	※過去に放鳥例, なお, 詳細は不明ながら城殿(1979)に濤沸湖周辺で繁殖との記述がある。
ツル目	GRUIFORMES		
ツル科	GRUIDAE		
	94 クロヅル	<i>Grus grus</i>	濤沸湖1971.3.20(玉田 1971)。
	95 タンチョウ	<i>Grus japonensis</i>	1982年に小清水町濤沸湖で繁殖(宇仁 1997)。1999年に網走湖において難連れの つがいを観察され(北海道新聞1999.6.8記事)。同年10月3日に成鳥1羽と幼鳥1羽 が網走市卯原内・能取湖においてビデオ撮影された(北海道新聞1999.10.10記事)。 女満別町網走湖畔1978.10.19(大西 1979)。 濤沸湖1996.4.27, 5羽上空通過(川崎 1997a)。 コムケ湖1990.10.24(大館 私信)。
	96 マナヅル	<i>Grus vipio</i>	
	97 ナベヅル	<i>Grus monacha</i>	
	98 カナダヅル	<i>Grus canadensis</i>	
クイナ科	RALLIDAE		
	99 クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	
	100 バン	<i>Gallinula chloropus</i>	
	101 ツルクイナ	<i>Gallixera cinerea</i>	斜里1980.11.5, 1羽保護拾得, 標本は知床博物館に保管(中川 1981)。
	102 オオバン	<i>Fulica atra</i>	

チドリ目 CHARADRIIFORMES
ミヤコドリ科 HAEMATOPODIDAE

103	ミヤコドリ	<i>Haematopus finschi</i>	サロマ湖キムアネップ1991.9.8 (保坂隆昭 私信), コムケ湖1993.9月 (坪川私信) /1984.10月/1985.9月/1986.9月/1989.9月 (大館 1990), 濤沸湖1990.5月下旬 (北海道新聞1990.6.10記事), 網走市北浜1995.10.7,3羽 (Strix 15) .
チドリ科 CHARADRIIDAE			
104	ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>	コムケ湖1991.8.18 (大館 私信), 濤沸湖1996.9.3-9.12 (川崎 1997a) /1997.4.16 (斎藤 私信) .
105	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	
106	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	美幌町網走川1996.5.25,2羽 (Strix 15) .
107	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	
108	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	
109	オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	コムケ湖1986.9.28 (大館ほか 1987) /1987.9.28 (大館 1990) .
110	ムナグロ	<i>Pluvialis dominica</i>	
111	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarol</i>	
112	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	コムケ湖1984.4-5月 (大館 1990) .
シギ科 SCOLOPACIDAE			
113	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	
114	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	
115	ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	
116	オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	コムケ湖1986.9.7 (大館ほか 1987), 濤沸湖1996.5.9-10,5羽 (川崎 1997a), 能取湖1998.9.7 (斎藤 私信) .
117	ヒメウズラシギ	<i>Calidris bairdii</i>	コムケ湖1988.8月 (大館 1990) .
118	アメリカウズラシギ	<i>Calidris melanotos</i>	能取湖1994.9.26 (斎藤 私信), 濤沸湖1996.10.14,3羽 (川崎 1997a), コムケ湖1997.8.17 (大館 私信) .
119	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	
120	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	
121	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	
122	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	
123	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>	
124	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	
125	ヘラシギ	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i>	コムケ湖1987.5.31,3羽 (大館ほか 1987) .
126	エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>	
127	コモンシギ	<i>Tryngites subruficollis</i>	コムケ湖1988.9.4-6月 (大館 1990) .
128	キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>	
129	オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	コムケ湖1986.9.20 (大館ほか 1987) /1990.9.23/1991.9.14 (大館 1992) .
130	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	
131	アカアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	
132	コアアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	コムケ湖1984.8-10月 (大館ほか 1986) .
133	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	
134	カラフトアオアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	コムケ湖 1985.9月/1989.5月 (大館 1990) /1995.9.15 (大館 未発表), 濤沸湖1973.9月 (城殿 1979), 1994.10.1 (川崎 1997a) .
135	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	
136	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	
137	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	
138	イソシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>	
139	ソリハシシギ	<i>Tringa cinerea</i>	
140	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	
141	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	
142	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	網走市呼人半島1981.5.24 (佐々木・渡辺 1983) .
143	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	
144	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	遠音別岳1984.9月 (中川・藤巻 1985) ※高山での観察記録.
145	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	

	146 タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	斜里町朝日町1977.9.25保護拾得, 剥製は知床博物館で保管(知床博物館資料)。 ほか, 標識鳥のデータがある(大館 私信)。
	147 チュウジシギ	<i>Gallinago megala</i>	
	148 オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	
	149 アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>	美幌町古梅石切沢1995.3月(島田 1996), 斜里町来運1996.2.20(川崎 未発表)。
セイタカシギ科 RECURVIROATRIDAE			
	150 セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	斜里町中斜里1988.5.30, 5羽, 斜里川河口1996.5.6-8(川崎 1997a)。
	151 ソリハシセイタカシギ	<i>Recurvirostra avosetta</i>	濤沸湖1995.11.10-26。(川崎 1997a)。
ヒレアシシギ科 PHALAROPODIDAE			
	152 ハイヒロヒレアシシギ	<i>Phalaropus fulicaria</i>	濤沸湖1975.11.2(小川ほか 1975)。
	153 アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>	
ツバメチドリ科 GLAREOLIDAE			
	154 ツバメチドリ	<i>Glareola maldivarum</i>	濤沸湖1973.9月(城殿 1979)。
トウゾクカモメ科 STERCORARIIDAE			
	155 オオトウゾクカモメ	<i>Catharacta macormicki</i>	小清水町止別1996.11.8(川崎 1997a)。
	156 トウゾクカモメ	<i>Stercorarius pomarinus</i>	
	157 クロトウゾクカモメ	<i>Stercorarius parasiticus</i>	
	158 シロハラトウゾクカモメ	<i>Stercorarius longicaudus</i>	紋別市1993.7.23(桐原ほか 2000), 止別川河口1995.8.2(川崎 1997a), 斜里町市街 1999.9.5幼鳥1羽保護, 標本は知床博物館に保管(知床博物館資料)。
カモメ科 LARIDAE			
	159 ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	
	160 セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	
	161 オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	
	162 ワシカモメ	<i>Larus glaucescens</i>	
	163 シロカモメ	<i>Larus hyperboreus</i>	
	164 カモメ	<i>Larus canus</i>	
	165 ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	
	166 ミツユビカモメ	<i>Rissa tridactyla</i>	紋別港1987.12.18第2回冬羽1羽(Strix 7) ※足の赤い個体。
	167 ヒメクビワカモメ	<i>Rhodostethia rosea</i>	斜里1974.1.14-1.15(森 1979)/同・以久科1997.4.24夏羽1羽(宇仁 私信), 紋別港 1987.12.19-12.30(日本野鳥の会野鳥記録委員会 1988)/1989.12.10(水間・大塚 1991), 止別川河口1991.1.7/1.9/1.27(Strix 10), 網走港1995.12.3(川崎 1997a) など。 紋別港1986.12.28(山田 1990)/1989.12.13/17(水間 1991), 斜里漁港 1996.1.21(川崎 1997a)。
	168 ソウゲカモメ	<i>Pagophila eburnea</i>	濤沸湖1996.5.16-18成鳥夏羽1羽/9.1-2第一回冬羽へ換羽中2羽, 斜里川河口 1996.5.23第二回夏羽1羽(川崎 1997a)。
	169 ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>	
	170 アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	
ウミスズメ科 ALCIDAE			
	171 ウミガラス	<i>Uria aalge</i>	
	172 ハシブトウミガラス	<i>Uria lomvia</i>	小清水原生花園(沖合) 1994.11.17/1996.11.29, 網走港1996.1.4(川崎 1997a)。
	173 ウミバト	<i>Cepphus columba</i>	
	174 ケイマフリ	<i>Cepphus carbo</i>	
	175 マダラウミスズメ	<i>Brachyramphus marmoratus</i>	藻琴山1961.6.15営巣(関根 1987)。
	176 ウミスズメ	<i>Synthliboramphus antiquus</i>	
	177 エトロフウミスズメ	<i>Aethia cristatella</i>	コムケ湖1995.12.11死体拾得(大館 私信), 斜里漁港1995.12.27死体拾得(川崎 1997a), その他, 斜里町内での保護拾得記録多数あり(知床博物館資料)。 斜里町真鯉1980.1.22保護(中川 1981), 止別川河口1994.11.20/1994.12.14(川崎 1997a), 斜里漁港2001.1.2保護(川崎 未発表), その他, 斜里町内での保護拾得記録多数あり(知床博物館資料)。
	178 コウミスズメ	<i>Aethia pusilla</i>	斜里1983.11.13/1986.11.12/1987.11.14保護, 標本は知床博物館に保管(中川 1988)。 斜里町~網走市の海岸では春~秋にかけて多数見られる。斜里川河口 1996.10.9, 500羽以上(川崎 1997a) など。繁殖期に, 繁殖コロニーからかなり離れた海域でも見られる(藤巻 2000)。
	179 ウミオウム	<i>Cyclorhynchus psittacula</i>	
	180 ウトウ	<i>Cerorhinca monocerata</i>	

	181 エトピリカ	<i>Fratercula cirrhata</i>	斜里町前浜1982.11.12保護, 翌日死亡, 標本は知床博物館に保管(知床博物館資料)。
ハト目 COLUMBIFORMES			
ハト科 COLUMBIDAE			
	182 カワラバト (ドバト)	<i>Columba livia</i>	
	183 キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	
	184 アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	
カッコウ目 CUCULIFORMES			
カッコウ科 CUCULIDAE			
	185 ジュウイチ	<i>Cuculus fugax</i>	
	186 カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	
	187 ツツドリ	<i>Cuculus saturatus</i>	
	188 ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	置戸町南ヶ丘1997.6.12, 1羽(花田行博 私信)。
フクロウ目 STRIGIFORMES			
フクロウ科 STRIGIDAE			
	189 シロフクロウ	<i>Nyctea scandiaca</i>	濤沸湖1976.11月(城殿 1979), 斜里町美咲1983.1.2知床博物館で保護, のち濤沸湖で放鳥(知床博物館資料)。 斜里1984.7.24抱卵斑のある雌を保護(中川・藤巻 1985)。
	190 ワシミミズク	<i>Bubo bubo</i>	
	191 シマフクロウ	<i>Ketupa blakistoni</i>	
	192 トラフズク	<i>Asio otus</i>	紋別市上渚滑1990.6.19幼鳥を保護(大館 私信)。
	193 コミミズク	<i>Asio flammeus</i>	
	194 コノハズク	<i>Otus sunia</i>	
	195 オオコノハズク	<i>Otus semitorques</i>	網走市1999.11月保護, 2000年5月放鳥(花田 私信)。
	196 キンメフクロウ	<i>Aegolius funereus</i>	北見市街1993.10月保護, のち, 釧路市動物園にて保護飼育(北海道新聞1994.4.7記事), 斜里町以久科1965.5.2捕獲(森 1979), その他, 知床博物館に斜里町内で保護拾得された標本が複数ある(知床博物館資料)。
	197 アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	
	198 フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	
ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES			
ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE			
	199 ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	
アマツバメ目 APODIFORMES			
アマツバメ科 AODIDAE			
	200 ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	
	201 アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	
ブッポウソウ目 CORACIIFORMES			
カワセミ科 ALCEDIDAE			
	202 ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	
	203 アカシヨウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	チミケップ湖1988.6.26 (Strix 7)。
	204 カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	
ヤツガシラ科 UPUPIDAE			
	205 ヤツガシラ	<i>Upupa epops</i>	濤沸湖(海岸砂丘) 1973.5月(城殿 1979), オシンコシンの滝付近1996.4.16(北海道新聞1996.4.24.記事), 小清水町中里1996.4.20 (Strix 15), 濤沸湖1998.4.10(斎藤 私信), ほか, 管内各地において新聞等による報道がなされている。
キツキ目 PICIFORMES			
キツキ科 PICIDAE			
	206 アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	
	207 ヤマガラ	<i>Picus canus</i>	
	208 クマガラ	<i>Dryocopus martius</i>	
	209 アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	

	210 オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	
	211 コアカゲラ	<i>Dendrocopos minor</i>	
	212 コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	
スズメ目 PASSIRIFORMES			
ヒバリ科 ALAUDIAE			
	213 ヒバリ	<i>Alauda japonica</i>	
ツバメ科 HIRUNDINIDAE	214 ハマヒバリ	<i>Eremophila alpestris</i>	コムケ湖1983.12月/1984.12月(北海道新聞社1986)。
	215 ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>	
	216 ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	
	217 コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	斜里町宇登呂1980.6.10ほか(中川1981), コムケ湖1999.5.24(大館私信)。
	218 イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	
セキレイ科 MOTACILLIDAE			
	219 ツメナガセキレイ	<i>Motacilla flava</i>	濤沸湖では, 1999.7.2幼鳥を含む7羽(斎藤私信)ほか, 餌運びをする成鳥などの記録があり, 繁殖していると思われる(川崎未発表)。
	220 キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	
	221 ハクセキレイ	<i>Motacilla lugens</i>	
	222 セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	
	223 ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	
	224 ムネアカタヒバリ	<i>Anthus cervinus</i>	コムケ湖1986.5.17(大館ほか1987)。
	225 タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>	
ヒヨドリ科 PYCNONOTIDAE			
モズ科 LANIDAE	226 ヒヨドリ	<i>Ixos amaurotis</i>	
	227 モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	
	228 アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	
	229 オオモズ	<i>Lanius excubitor</i>	止別川河口1996.4.18/5.16, 小清水原生花園1996.4.10(川崎1997a)。
レンジャク科 BOMBYCILLIDAE			
	230 キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>	
カワガラス科 CINCLIDAE	231 ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>	
	232 カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	
ミンサザイ科 TROGLODYTIDAE			
	233 ミンサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	
イワヒバリ科 PRUNELLIDAE			
ツグミ科 TURDIDAE	234 カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	
	235 コマドリ	<i>Erithacus akahige</i>	
	236 ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>	
	237 コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	
	238 ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	
	239 クロジョウビタキ	<i>Phoenicurus ochruros</i>	斜里町知床岬1986.4.25(山田1989)。
	240 ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>	濤沸湖1973.12.25(城殿1979), 知床半島先端部1980.5.22(中川1981)。
	241 ノビタキ	<i>Saxicola maura</i>	
	242 ハシグロヒタキ	<i>Oenanthe oenanthe</i>	濤沸湖1986.9.6(Brazil1987)。
	243 イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	
	244 マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>	
	245 トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	
	246 クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	
	247 アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	
	248 シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	

	249 マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	女満別町1979.10月(藤巻 1995), 海別岳1983.5.13(中川 1985), コムケ湖1986.5.11, 2羽, ほか(大館ほか 1987).
	250 ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	
ウグイス科 SYLVIDAE			
	251 ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	
	252 ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	
	253 エゾセンニュウ	<i>Locustella fasciolata</i>	斜里町宇登呂1980.6.10ほか(中川 1981), コムケ湖1999.5.24(大館 私信).
	254 シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>	
	255 マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>	
	256 コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	
	257 オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceu</i>	
	258 カラフトムジセッカ	<i>Phylloscopus schwarzi</i>	チミケツ湖1991.6.13 (Strix 11) ※さえずりによる確認.
	259 メボソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i>	
	260 エゾムシクイ	<i>Phylloscopus tenellipes</i>	
	261 センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	
	262 キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	
タキ科 MUSCICAPIDAE			
	263 キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	
	264 ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>	置戸湖1996.9.29, 1羽落鳥, 標本は置戸町郷土資料館にて保管(藤田俊大 私信).
	265 オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	
	266 サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>	
	267 エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	
	268 コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	
ナガ科 AEGITHALIDAE			
	269 エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	
ジュウカラ科 PARIDAE			
	270 ハシブトガラ	<i>Parus palustris</i>	
	271 コガラ	<i>Parus montanus</i>	
	272 ヒガラ	<i>Parus ater</i>	
	273 ヤマガラ	<i>Parus varius</i>	
	274 シジュウカラ	<i>Parus major</i>	
ジュウカラ科 SITTIDAE			
	275 ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	
バシリ科 CERTHIDAE			
	276 キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	
メジロ科 ZESTEROPIDAE			
	277 メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	以前は稀な種であったが, 近年は各地で普通に観察されるようになった(川崎 1997a).
ホオジロ科 EMBERIZIDAE			
	278 シラガホオジロ	<i>Emberiza leucocephalos</i>	濤沸湖(天然防風林)1974.1.10-3.7, 2羽(城殿 1979), 斜里1996.12.31-1997.1.8(川崎 1997a).
	279 ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	
	280 シロハラホオジロ	<i>Emberiza tristrami</i>	コムケ湖1984.4月(大館ほか 1986).
	281 ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	
	282 カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	
	283 ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>	濤沸湖1996.5.8(川崎 1997a).
	284 シマアオジ	<i>Emberiza aureola</i>	
	285 アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	
	286 クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	
	287 オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	
	288 ツメナガホオジロ	<i>Calcarius lapponicus</i>	濤沸湖1974.2.18-3.4, 2羽(城殿 1979), 止別川河口1996.12.27, 22羽の群れ(川崎 1997a).
	289 ユキホオジロ	<i>Plectrophenax nivalis</i>	

アトリ科 FRINGILLIDAE

290	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>
291	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>
292	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>
293	ベニヒワ	<i>Carduelis flammea</i>
294	コベニヒワ	<i>Carduelis hornemanni</i>
295	アカマシコ	<i>Carpodacus erythrinus</i>

北見市1997.2.13 (坪川 私信)。
 濤沸湖1974.3.21オオマシコ群中に1羽 (城殿 1979)。近年の確実な記録はないと思われる。

296	ハギマシコ	<i>Leucosticte arctoa</i>
297	オオマシコ	<i>Carpodacus roseus</i>
298	ギンザンマシコ	<i>Pinicola enucleator</i>
299	イスカ	<i>Loxia curvirostra</i>
300	ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>
301	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>
302	イカル	<i>Eophona personata</i>
303	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

304	ニューナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>
305	スズメ	<i>Passer simplex</i>

ムクドリ科 STRUNIDAE

306	コムクドリ	<i>Sturnus philippensis</i>
307	ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>
308	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>

濤沸湖1994.10.29 (川崎 1997a)。
 網走市新町1991.6.7部分白化個体 (Strix 11)。

カラス科 CORVIDAE

309	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>
310	ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>
311	ミヤマガラス	<i>Corvus frugilegus</i>
312	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>
313	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>
314	ワタリガラス	<i>Corvus corax</i>

濤沸湖2001.1.29成鳥1羽,幼鳥1羽 (川崎 未発表)。

近年は確認例が増加している。斜里川河口2001.1.31 (川崎 未発表) など。

18目 54科 314種

表 2. 収録を見送った種とその理由

種名	学名	備考
※3 ※2 ミゾゴイ ヒメクイナ	<i>Gorsachius gousai</i> <i>Porzana pusilla</i>	藤巻(2000)では、田沢(1990)の記録を「斜里」としているが引用間違いと思われる。 森(1979)などに夏期の観察例が記載され、城殿(1979)には瀧沸湖で繁殖と記載されているが、いずれも詳細は不明。知床博物館に標本があるが、採集地は不明(知床博物館資料)。 城殿(1979)に瀧沸湖で繁殖と記載されているが、詳細は不明。
※2 ※2 ※2 ※2,3 ヒクイナ コケワタガモ メリケンキアシシギ シロハラチュウシヤクシギ	<i>Porzana fusca</i> <i>Polysticta stelleri</i> <i>Heteroscelus incanus</i> <i>Numenius tenuirostris</i>	佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。なお、本種の日本における記録は、確実な産地、採集年月の不明な標本2個体のみによるもの(日本鳥類目録編集委員会2000)であり、疑問視されることが多い。 また、現在は世界的に見ても繁殖地が不明で、定期的な越冬地も世界でわずか1カ所(北西アフリカのモロッコにある湖)が知られるのみであり、同地でもこれまでに総計で10羽ほどしか確認されていない(1994-95年の冬期に越冬が確認されたのは1羽のみ)とされ(日比1995; Beaman, M. and Madge, S. 1998)、日本で確認される可能性は限りなくゼロに近い(日比1995)とされる。
※2 ※2 ハリモモチウシヤク コシヤクシギ	<i>Numenius tahitiensis</i> <i>Numenius minutus</i>	佐々木(1990)、および齋藤(1996)に記載があるが、詳細は不明。 藤巻(2000)では、まれな旅鳥としているが、瀧沸湖周辺では秋に中州草原などで見られる(川崎1997c; 1998)。ただし、写真などの客観的な資料がない。
※2 ハリオシギ	<i>Gallinago stenura</i>	知床博物館に、1978年以前に斜里町内で拾得されたと考えられる標本が1体あるが、詳細は不明(知床博物館資料)。
※1 ※1 ※2 ※2 ※2 ※2 ホイグリーンカモメ カナダカモメ アカアシミツユビカモメ コアシサシ ツノメドリ	<i>Larus heuglini</i> <i>Larus thayeri</i> <i>Rissa brevirostris</i> <i>Sterna albifrons</i> <i>Fratercula corniculata</i>	止別川河口1995.10.8、斜里漁港1996.9.23(川崎1997a; 1997b)。 コムケ湖1998.3.21(大館私信)。 佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)、および齋藤(1996)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)に、出処が明らかな剥製があると記載されているが、詳細は不明。知床博物館に標本が1体あるが、採集地は不明(知床博物館資料)。
※2 ※2 ※2 ※2 コヒバリ カラフトムシクイ シベリアジュリン ナキイスカ	<i>Calandrella rufescens</i> <i>Phylloscopus proregulus</i> <i>Emberiza pallasi</i> <i>Loxia leucoptera</i>	佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 佐々木(1990)に記載があるが、詳細は不明。 森(1979)に1月の観察例が記載されているが、詳細は不明。

凡例

- ※1 確実な記録であるが、日本鳥類目録委員会(2000)がまだ採用していない。
 ※2 詳細が不明で、他の確実な記録の確認に至っていない。
 ※3 その他(備考欄参照)。